

平成11年度 病虫害発生予察 特殊報 第3号

病虫害名： *Echinothrips americanus* Morgan

対象作物： インゲン

1. 特殊報の内容

インゲンにおいてアザミウマ亜科の1種 *Echinothrips americanus* Morgan の発生を都下(小笠原村父島)で初めて確認した。本種および本属のアザミウマの記録は日本で最初と思われる。

2. 発生経過

- (1) 1999年4月7日東京都小笠原村父島において、パイプハウス内で栽培中のインゲン葉に未知のアザミウマが発生し、かすり状の被害が発生した。採集したアザミウマは工藤巖博士により標記のとおり同定された。本種の情報・資料等については工藤巖博士から供与いただいた。
- (2) その後、1999年5月26日同インゲン葉で調査したところ、5種のアザミウマ種とともに再度採集された。
- (3) 現在まで圃場周辺や温室などで各種植物を調査しているが、当該ハウス内のインゲン以外では生息を確認していない。

3. 形態

“Insect and Related Pests of Flowers and Foliage Plants” (North Carolina State University) によれば、雌成虫の体長は約1.6mm、雄は1.3mm。体色は赤みを帯びた暗褐色。触角第1、2節は暗褐色、3、4節はそれより明るい。前翅の基部、中部、先端は薄い灰色で、その間に薄茶色の部分がある。

以下は工藤巖博士による。

- (1) 中胸腹板叉状器に小棘あり。
- (2) 各脚に網状刻紋を欠く。
- (3) 頭・前胸部に網状刻紋があり、その間部にしわ状刻紋あり。
- (4) 触角8節：第3・4節感覚錐は棒状。
- (5) 複眼後刺毛は内側の2対がよく発達。
- (6) 前胸背板後縁に先端が広がる2対のよく発達した刺毛あり。
- (7) 前翅前縁及び前脈上の刺毛はよく発達し、先端は広がる；後脈刺毛を欠く。
- (8) 腹部背板中央刺毛は長く近接；側部に多数の微毛あり。
- (9) 小腮鬚は2節。

4 . 生態・分布

- (1) 本種を含む属のグループはアメリカ(北・南)に分布する数種からなり、現在まで他地域からの記録、記載はない。
- (2) 近年北米大陸の温室内でポインセチア(トウダイグサ科)等の害虫として報告されている。ポインセチア以外ではインパティエンス(ツリフネソウ科)、ゴミヤマカタバミ(カタバミ科)、キク(キク科)などに寄生するとされている。

5 . 被害

- (1) 発生圃場では *Elixothrips brevisetis*, クリバナアザミウマなどのアザミウマが混発していたため、本種のみの被害を正確には特定することはできなかったが、発生葉では葉脈に沿ってかすり状の被害が発生していた。

6 . 防除対策および注意

- (1) 本種は北米での報告にあるように広食性で、我が国においても十分害虫化する可能性を持っていると考えられる。今後の分布拡大に十分注意する必要がある。

7 . 図：成虫 (プレパラート標本)

